

JICA食と農の協働プラットフォーム第6回(2024年度)年次フォーラム

# 次の一手を考える気候変動対策

～農業分野における実務者の役割、可能性～

開催日時:2025年1月29日(水) 14:30～16:15

開催方式:ハイブリッド開催

会場参加: JICA麴町本部113会議室

オンライン参加: Microsoft Teams

# フォーラムの目的

[第4回年次フォーラム事後アンケート](#)の結果、気候変動対策に対する高い関心が示されました。気候変動は開発途上国の小規模農家(多くが脆弱層)に特に大きな影響を及ぼしています。

このような状況を受け、本フォーラムでは、産学官の連携を通じ、パリ協定の目標達成に向けた具体的な協力のあり方を探ります。

参加者の皆様と農業分野におけるレジリエンス強化(混乱を抑える手段を備え、リスク低減を図ること)のための知恵を共有し、実践的な行動につなげるきっかけを提供する場となることを目的とします。

# 気候変動対策における農林業分野の可能性

世界の農林業由来の温室効果ガス(GHG)排出の割合は、[みどりの食料システム戦略の実現に向けて\(令和6年11月 農林水産省\)](#)によれば、2019年で22%を占め、地球規模の気候変動に大きな影響を及ぼしていることが分かります。

一方で、農林業分野にはGHGの回収や貯留を実現する有効な手段が多く存在します。アグロフォレストリーや環境再生型農業による樹木や土壌中への炭素を固定や情報技術の活用による肥料使用量の削減とGHG排出抑制の技術です。水稲作での間断かんがい導入によるメタン排出削減等があります。

また、農業改良資材による作物の干ばつ等への抵抗性強化などもあります。

これらの方法は、大規模な設備投資を必要とせず、費用対効果に優れているため、気候変動対策として注目されています。実務者にとっては、持続可能な農業経営と気候変動への対応を両立させる具体的な選択肢となり得るのです。

# プログラム

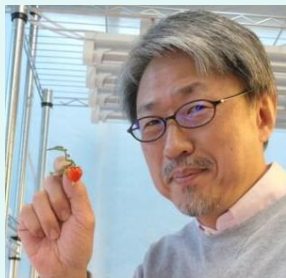
1. 開会挨拶：JICA上級審議役 山口 博之
2. JiPFAの2024年度実績、2025年度活動計画報告：JICA経済開発部計画担当次長 森口 加奈子
3. JICAの農業農村開発分野の気候変動に係る取組戦略紹介：JICA経済開発部技術審議役 北田 裕道
4. 農林水産業分野における持続可能性と気候変動対策の国際的潮流：農林水産省 輸出・国際局 国際戦略グループグループ長 米田 立子様
5. 民間企業の取り組み紹介
  - (1) 適応策：バイオスティミュラントを用いた高温・干ばつ下での栽培適応策(仮)：アクプランタ株式会社 CEO 代表取締役社長、東京大学准教授 金 鍾明様
  - (2) 緩和策：グローバルサウス諸地域における衛星データを活用した再生可能農業の推進と営農最適化：サグリ株式会社 グローバルサウス統括/インド法人最高戦略責任者 永田 賢様
6. 全体質疑応答：JICA経済開発部計画担当次長 森口 加奈子
7. フォーラム総括：JICA経済開発部部長 下川 貴生

# 外部登壇様プロフィール



米田 立子様

様々な国際環境交渉に参画し、また水稲作を対象に、世界初の二国間クレジット制度(JCM)の運用開始に取り組む、米田氏に最新の動きをご紹介いただく。



金 鍾明様

高温・干ばつという悪条件でもバイオスティミュラント(非生物学的ストレスを軽減し、作物とその周辺の環境がもつ本来の力を引き出す)による生産量維持による食料安全保障への貢献、また、ウガンダでの商品登録の取り組みをご紹介いただく。



永田 賢様

サグリ株式会社は、「人類と地球の共存を実現する」をビジョンに、2018年に兵庫県で創業した岐阜大学発スタートアップである。衛星データをAI技術を用いて「農地の見える化で価値を創造する」というミッションのもと環境・社会問題の解決を目指している。海外事業では、シンガポールとインドに現地法人を有し、主にグローバルサウス地域で実証・事業を展開している。第6回宇宙開発利用大賞の内閣総理大臣賞など受賞多数。

**ご経歴:** 早稲田大学卒業後、大手損保・ベンチャー企業・家業を経て、インドの現地日系企業に転職。新興アグリテックであるサグリ株式会社のインド法人立ち上げ要員としてスマートアグリ事業を立ち上げ。現在は、同社グローバルサウス統括も兼任し、中南米やアフリカといった新興地域の国々を飛び回っている。

# 参加(お申し込み)のご案内

## お申し込み先

(※会場参加者の定員は設けておりませんが、申し込み状況により途中でオンライン参加のみの受け付けとさせていただきます場合がございます)

お申し込み用Forms

<https://forms.office.com/r/YVA76DWbJd>

お申し込みをいただきました方には1月28日(火)までにMicrosoft Teamsのリンクを会場参加ご希望の方も含めてお送りいたします。

## お申し込み締め切り

2025年1月27日(月) 正午

## お問い合わせ先

(※フォーラム当日は準備の都合上、対応できませんので予めご了承ください)

☆ お申し込み方法に関するお問い合わせ先

JICA課題部支援ユニット会議チーム

[Kadaishien\\_chosei@jica.go.jp](mailto:Kadaishien_chosei@jica.go.jp)

☆ フォーラム内容に関するお問い合わせ先 JiPFA事務局(JICA経済開発部計画課内)

[jipfa@jica.go.jp](mailto:jipfa@jica.go.jp)

## ご希望される方への主催者の参加証書発行

本フォーラムご参加の方で、主催者(JICA経済開発部長、JiPFA事務局長)の参加証明書(105分間)をご希望される方はJiPFA事務局に申請願います。申込者リストと照合の上、発行させていただきます。

所属の学会・協会等のCPD単位申請の証拠文書等としてご活用ください。